



★失敗は成功のもと Part2★

前号の続きであゝ。「原因の反省と方法や欠点の改善」をもう少し具体的にする必要があります。

まずはテストの点が悪かった理由をこまか〜く分析する。

できなかった問題 1 第 1 題を丁寧に見直し、原因を追究してみよう。



この問題とこ
習ったけ〜

教科書のこのへんに
ぬておいたの

ノートまとめ方は?

みんなこれにたづねて
あつたの

なんで解けな
かんなんだろう



次に失敗の「全体像」を見直す。教科全体、勉強全体を反省してみるのだ。



テスト前の準備は
どうだったの

授業の受け方
問題はなかったの

家での勉強は
どうだったの



計画の立て方は
どうだったの

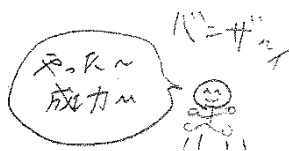
ここまでできれば「その原因を反省する」はほぼ完了する。

次はそれまでに出てきた「原因」に対して「どうしたら解決するか」を考える。

それが「方法や欠点を改める」につながっていく。ここで注意! 「方法や欠点を改める」ための方法や計画を『考える』だけではダメであるということ!! それを『実行』しなければ意味はないのである。だから実行可能な方法や計画をつくる必要がある。

失敗による「悔しさ」と自分の「目標」や「やる気」、「根性」、「集中力」とよく相談して計画づくりを進めていただきたい。そのことによりあなたにとっての「失敗」は「成功のもと」となり、いつかきっと本物の「成功」を Get するエネルギーとなるのだ。ふつうそこまでやれる中学生はなかなかいない。いないからこそあなたがやるのだ! そうすることで、勉強に関してあなたは「なかなかいない中学生」になることができる。成績上位の人は「なかなかいない中学生」たちなのである。テストだけでなく部活や行事、ふだんの生活でも同じことがいえる。数多くの「失敗」と「成功のもと」はこんな方法で「成功に」転身させることができるのだ。

ただ一度や二度の「失敗」と「反省」で次は見事に



なんて都合の良いものではないことはわかってるだろう。

『何度も失敗して、何度も反省して、何度も改善して』

チャレンジするネバリが大切である。人はそれを「努力」と呼ぶ。しかし、「その原因の反省」と「方法や欠点を改める」の 2 点を見捨てるならば「失敗」はいつまでも「成功のもと」である。

いつまでたってもカップラーメンはお湯がなければラーメンのもとで終わってしまうのだ。

